



Brainstorming

スタッフ全員が力を発揮するための 理想のリハビリテーション部門の体制とは？

コミュニケーションを高める工夫がある

- スタッフルームの部門の仕切りを外す
- 定期的な席替えをする
- 病棟業務を推進し、否応なしに他部門と会話する
- 朝礼、院内メールなど全員に統一された伝達方法

相互理解のため、話せる環境が整っている

- 下からの意見を吸い上げる仕組みがある
- 経験年数関係なく意見が言える・聞ける
- インフォーマルな感じで話しができるのがいい

スタッフの専門性が活かせる

各個人の目標を全体として共有できるかどうか

ライフワークバランスを考えた労働環境がある

- 産休明けセラピストに対する配慮がある
- 時短、職場の勤務体系などが柔軟である
- 結婚・出産・育児など女性に優しい

リーダーがリーダーとしての 役割を果たす

- 方向性を示してくれてる
- 部門ごとの理念・目標の明示**
- 事業計画実行を引っ張っていきける

現場に任せてくれる

- 現場を知ろうとする姿勢がある
- 周りを見渡せる

リーダーは黙って背中を見せる

- やさしさと厳しさを併せ持つ
- 交渉力がある

信頼感がある

発見だったのは、
どのグループにおいても、
教育方法などよりも、
スタッフ間のコミュニケーション
についての問題や、リーダーの役
割などが重要視されてました。

